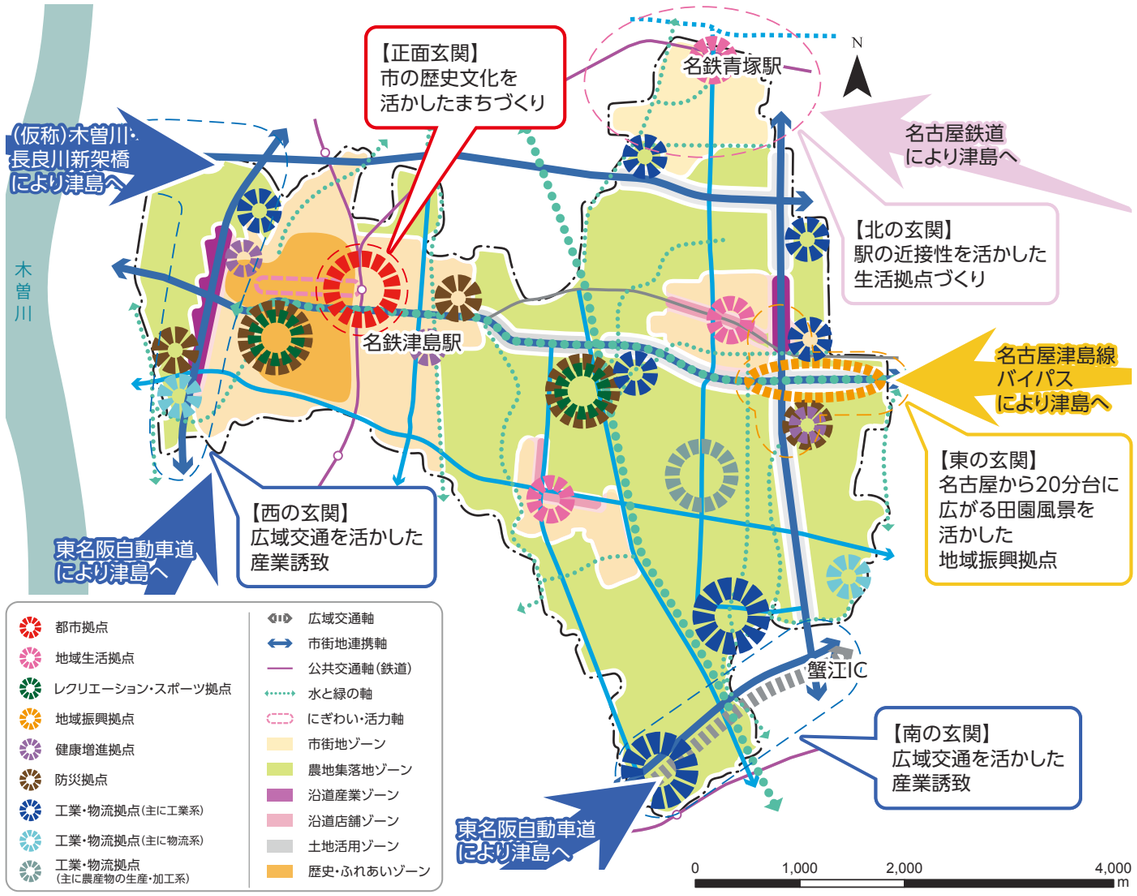
津島のまちづくり

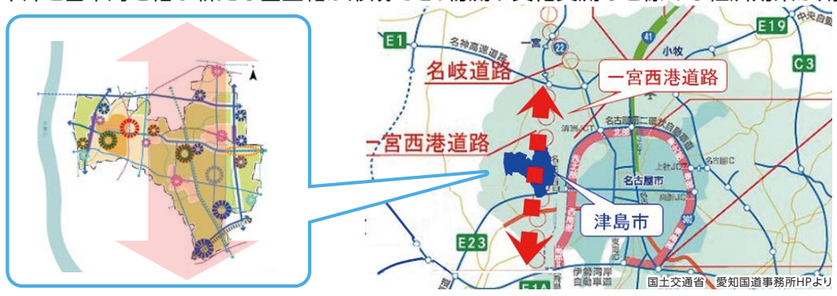
5つの玄関構想

リニア中央新幹線の開業による交流人口の増加も見据え、道路と鉄道の交通インフラにより、本市にアクセスする地区を正面と東・西・南・北の5つの玄関構想を配置します。
近隣市町や広域連携を意識して、産業や観光の活性化を図ります（相乗効果で産業連関も上昇）。



津島玄関まちづくり構想の役割

一宮西港線は東海北陸自動車道一宮JCTと伊勢湾岸自動車道を結ぶ高規格道路です。
実現した際、太平洋と日本海を結ぶ新たな国土軸が形成でき、物流や文化交流など様々な経済効果が期待されます。

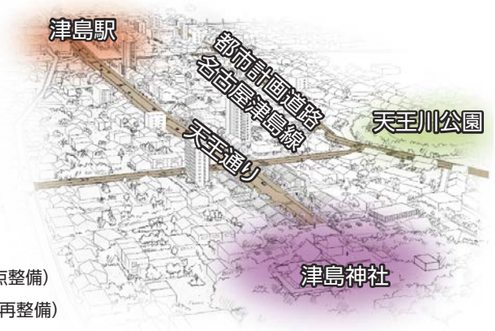


正面玄関

正面玄関のまちづくりのテーマ

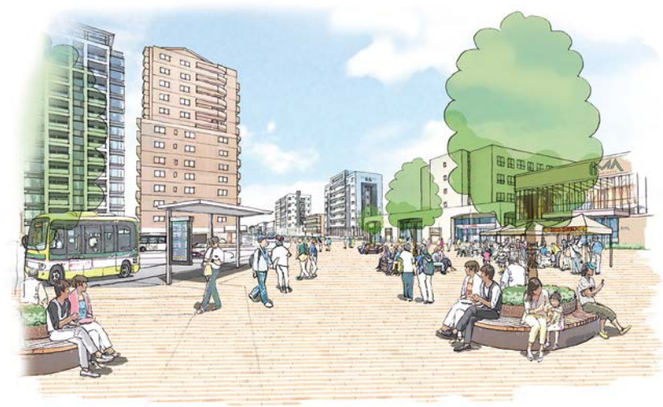
・未来に向けて、固有の歴史文化を活かし、津島駅周辺の暮らしの質を高める取り組みを実施
・インフラなどの社会資本以外にも、民間や市民など関係する資本も、今ある資源を利用して価値を生み出すよう投資

【正面玄関】



取組内容

交流、魅力、生活の視点から…
①賑わいの交流空間を形成するまちづくりの推進（地域の魅力となる拠点整備）
②回遊したくなる魅力づくりの推進（市のシンボルロードである天王通りの再整備）
③快適に暮らせるまちづくりの推進（集約型都市構造に向けた土地利用誘導）



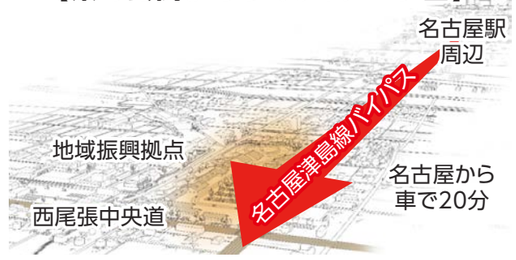
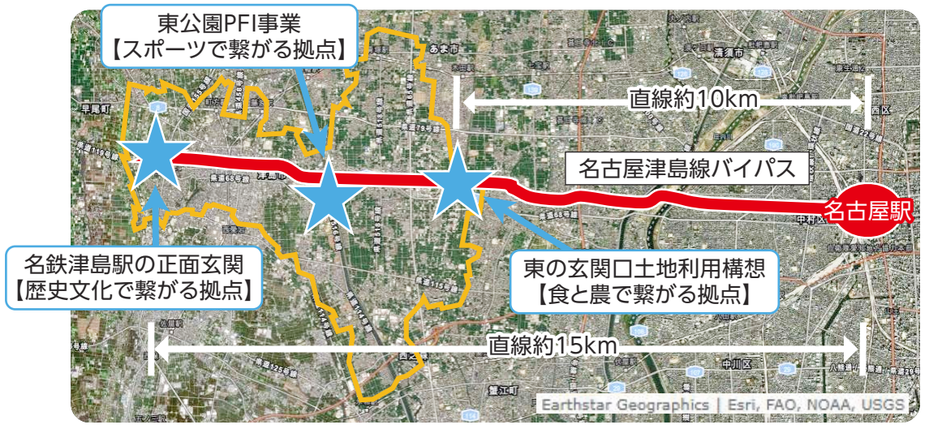
【天王通りのイメージ】

東の玄関

海部地域の要となる主要地方道名古屋津島線バイパスの「みちづくり」にあわせた、市の地域振興拠点となる「まちづくり」の推進

名古屋津島線バイパスの整備や正面玄関のまちづくりとあわせ、総合運動公園の東公園、さらに東の玄関口として「地域振興拠点」について、官民連携を想定し、市のアクティビティ拠点の実現を目指します。

【東の玄関まちづくりイメージ図】



【主要地方道名古屋津島線バイパスの配置図】